

パブリックコメントにて寄せられた意見とその対応

パブリックコメントを通じ 12 件の意見が寄せられた。意見内容とその対応方法について下表に示す。

表 パブリックコメントにて寄せられた意見及びその対応-1

No	住所	自治会名	氏名	年齢	TEL	意見	対応
1						<p>多角的に考えて下さっている事が良くわかりました。しかし相対的な山東部の道路は国道以外は管理が行き届いていないと思っています。所によっては道路の中央線も端の白線も無く、濃い霧が出た時には非常に危ない。道路の改良としては、県道212号は道が狭すぎる。また、県道218号線は工事が途中で中断されている。財政的な事もあるので、とりあえず、212号線と218号線の合流地点の中村から祭場まで、欲を言えば東小学校までの212号線を広げるか新しく造り直すかすると物流や観光の面に寄与すると思います。次は矢津田方面と草部南部の道を広げること。その次は県道218号線を計画通りつなぐことをお願いしたい。</p>	<p>県道の改良や維持管理については、今後、策定した計画に基づき、どの区間から実施していくかも含め、道路管理者となる県と協議しつつ、改良や維持管理を進めていきます。</p>
2						<p>南阿蘇鉄道全線復旧には4～5年位要すると言う世間話ですが、まずは、大津又熊本市内への道路が狭いのが問題の一つでしょう。現在の栃木から立野へ向かう道路ですが、現在立野病院近くまでの新しい道路計画の進行中ですが熊本地震から2年8か月を迎えましたが栃木井手スタンドから栃木大楠までの90°以上の曲り道はそのままの状態です。私も何度か大型トラック及びクレーン車が登れないまま停車していたのに遭遇し警察へ直ぐに電話したことがあります。冬になれば雪道や凍結したりするので地元の車輦は理解できますが市内又は他県ナンバーの車は大変困ると思います。勿論南阿蘇鉄道復旧も急ぎますが国道325号の復旧開通を望みます。私たち同級生一同は高森駅に於けるイベント行事には20年以前餅つきをしたり、舞台ではにわかをしたり、観光客に大変喜ばれた経験があります。現在いろんなイベントや復興計画には多数耳にしますが大津町や熊本市内からまた他県からの観光客を求めて来るにはまずは道路を一早く復旧して欲しいと思います。今年も寒波が目の前です。凍結防止のためには滑り止めのための砂などを準備してほしいです。</p>	<p>国道325号は現在、国が主体となり整備を進めています。現時点では、2年後の開通が予定されています。</p>
3						<p>町民にとって、いいルートになるようにしてほしい。熊本、宮崎に観光ルートの道がつながるのでいい案だと思います。</p>	<p>策定した計画の実現に向けて各種取組を推進します。</p>
4						<p>道路のことは全くわからないが、観光面で（飲食店をしているので）外国、県外の方が立ち寄られる、現在はスマホで検索して来られるのでよく知って（阿蘇のこと）又、知りたいとおられる。交通機関がたかもり号又、高千穂から来た（観光をしてこの高森に来た）とおっしゃる方もいる。たかもり号は良く知られているが町民バスで色見の熊座神社などへも行く方法があると伝えるべきと思う。レンタカーの人には阿蘇市へ吉田線を使って行く方法、色見を通っていく方法、高森町を気に入って下さる観光客はとても多い。ただレンタカーでない歩きの観光客の方へ自転車を借りる方法、たかもり号のバス停を知る方法、目に入りやすい方法を取るべきと思う。阿蘇市、宮崎への道路状況がわかれば高森町へ出入りする人口が多くなる。高森町へこの道を使えば案内、それと観光名所アピール。道路は広く良くなれば、自然の良さも失われる、曲がりくねった道が景色はよい。</p>	<p>公共交通やレンタサイクルの周知・PR方法や、観光案内など、各分野において取組を実施していきます。</p>

表 パブリックコメントにて寄せられた意見及びその対応-2

No	住所	自治会名	氏名	年齢	TEL	意見	対応
5						<p>①広域連携軸；阿蘇市への新規路線の整備 国道265号への通行安全性（時に冬場）確保の為の新規路線整備 現在建設中の上色見、前原・防災道路を延伸（日ノ尾峠経由一の宮へ）し、阿蘇市との連携をはかる（医療と観光の両面より）</p> <p>②地域内観光ルートの整備 上色見の熊野座神社が、パワースポットとして高森観光の大きな柱となってきた。同神社へのアプローチは国道265号が中心であるが、歩道の整備が不十分で、参拝客の交通事故が懸念される。（特に国民休暇村宿泊の参拝・散策者が多くなっている）</p>	阿蘇市への連結強化については、策定した計画を基に取組を推進します。 また、国道265号熊野座神社アプローチ口の安全対策については、別途、対策を検討していきます。
6						<p>道路面に関して 国道265号線は災害に弱く根子岳縦断道路を新設して阿蘇市、やまなみハイウェイに直結する方針が欲しい。特に中九州中央自動車道との連携をする事で緊急災害時への備え（南海トラフ地震等想定）も有る。</p> <p>運行面に関して 南阿蘇鉄道全面復旧した時の二次交通との連携をしっかりとって欲しい。待ち時間が15分程度で乗り換えが出来る様に。高齢者にも何も知らない観光客にもわかりやすい様にして欲しい。JR阿蘇駅までの交通整備。阿蘇市も含めた議論をお願いしたい。</p>	阿蘇市への連結強化については、策定した計画を基に取組を推進します。 公共交通の乗り換え利便性や分かりやすさの向上に関しては、公共交通分野の取組として進めていきます。
7						<p>新規路線とは、日ノ尾峠線を指しているものと推察しております。 そこで、私が建設課在籍当時の平成18年度から19年度にかけて、地元選出国会議員宛ての陳情書を作成したり、阿蘇市側との事務協議の担当でしたので参考意見を述べます。 鍋の平入口から峠（市町界）まで平面直線距離で2.5km、阿蘇市側が最短ルートで国道265号線の古木碎石場付近まで平面直線距離で4.0km。峠から北上して阿蘇駅付近へ結べば平面直線距離6km超、のルート案を持っておりましたが、その協議に辿りつくことはありませんでした。何かかということ、阿蘇市側は「高森側に求めるメリットが無い」、「莫大な財政負担をしてまで新規道路は必要ない」とのスタンスだったからです。 この道路は、阿蘇市側の翻意が無ければ到底実現しませんので、相当な困難が予想されます。 高森町としては、官庁や医療機関も多い阿蘇市と結べば利便性が向上し、更には観光ルートとしても計り知れない波及効果を産み出す魅惑の構想でしたので、実現する事を期待している次第です。</p>	策定した計画を基に、阿蘇市への連結強化に向けた取組を推進します。
8						<p>私の住む矢津田地区は県道で国道325号山都町埋立につながるのですが道路改良工事が大字中中村→埋立が出来ては無いので早急に改良をしてほしいと思います。又 町道（村山・高尾野）がありますが近年は交通量も増えていて離合箇所が狭く、このことも対処できるなら改善をお願いしたいと思います。又、災害時の事も考えて対策をしていただきたいと考えます。</p>	県道の改良や維持管理については、今後、策定した計画に基づき、どの区間から実施していくかも含め、道路管理者となる県と協議しつつ、改良や維持管理を進めていきます。

表 パブリックコメントにて寄せられた意見及びその対応-3

No	住所	自治会名	氏名	年齢	TEL	意見	対応
9					<p><意見分類> ●阿蘇市への連結強化 ●国道 265 号の安全対策</p>	<p>■最も大きな課題として国道265号線、特に冬期の阿蘇市方面への移動の困難さを実感しております。近郊では最も近くに阿蘇市に病院施設があるとはいいつつ、全く渋滞がなく道路凍結のない時期であっても、高森町内からは最短で40～50分。冬期、荒天時、渋滞時に、なおかつ救急車両の到着を加えれば、1時間数10分の移動時間がかかります。</p> <p>■町全体の高齢化を考えれば、医療施設への搬入時間の短縮は、住民にとっての緊急課題といえます。高森エリアでは、「大戸の口」に至るまでの登り、急カーブの連続が大きな障害になっており、登坂車線のない見通しの悪い道は緊急車両の通り抜けも困難な地帯です。このカーブの前の部分から218号線・阿蘇市方面にショートカットできる道があれば、利便性は一気に高まるばかりでなく、近年、熊本県でも屈指の観光地となって世界中の方が訪れる「上色見熊野座神社」を起点とした阿蘇市との観光面でも大きな効果を発揮すると考えられます。</p> <p>■265号線は、上記の神社から下の部分でも問題を抱えています。1つは雨量電工表示板の下からフォークスクール・色見地区方面へ行く道との出会い頭に危険があり、神社への交通量が増す中で周辺住民も危険性を痛感しています。カーブの内側の樹木を伐採して見通しをよくするなど、早急な改善策が必要です。</p> <p>■町内の未改良区間の維持管理は重要ですが、大動脈となる265号線の改善が最必要課題と考えます。</p> <p>■九州中央自動車道の開通も視野に入れて、横からの大動脈を遮断しないためにも縦軸の移動網は重要です。2020年オリンピックや新阿蘇大橋開通を踏まえ、観光も視野に入れた縦軸の改善計画に賛同致します。</p>	<p>阿蘇市への連結強化については、策定した計画を基に取組を推進します。</p> <p>また、国道 265 号の安全対策等については、県により対策着手済。</p>
10					<p><意見分類> ●県道の改良・維持管理</p>	<p>県道 212 号の改修が津留方面より少しずつ行われている。今、計画中の区間では自分も他権者であり、極力協力するつもりでいる。この道路を東部線（永野原～波野）と一日でも早く接続することにより、その価値は相当なものになることは必至。その先には宮崎、大分との接続もあり、さらなる展望がありそう。もう少しスピードアップは出来ないのかと考える。</p>	<p>県道の改良や維持管理については、今後、策定した計画に基づき、どの区間から実施していくかも含め、道路管理者となる県と協議しつつ、改良や維持管理を進めていきます。</p>
11					<p><意見分類> ●阿蘇市への連結強化</p>	<p>高森から阿蘇市方面への国道は 265 号線しかないが、265 号線は災害に弱い道路で、しかもアップダウンが多く、急カーブが多いので通りにくい。近い将来、中九州自動車道が竹田から阿蘇まで開通すると思います。その時に中九州自動車道のインターチェンジを高森町につくってもらうように国に働きかけてもらいたい。熊本地震から3年も経ってない、今だからこそ災害に強い道路のインターチェンジをつくることを国に要請することを提案します。</p>	<p>高森町へのインター整備は、中九州自動車道のルートが決定している為難しいですが、最寄インターが設置される阿蘇市への連結強化について、策定した計画を基に取組を推進します。</p>
12					<p><意見分類> ●阿蘇市への連結強化</p>	<p>阿蘇は一つと考えたら南北方向の流動機能が一番だと思います。色見地区より一の宮方面に通じる道路、根子岳付近にトンネルを掘る、が観光その他の面でも絶対に良いと思います。</p>	<p>策定した計画を基に、阿蘇市への連結強化に向けた取組を推進します。</p>

前項にて示した各意見内容の内訳をみると、「阿蘇市への連結強化」に関する意見が約半数より寄せられており、今後実施していく取組の中でも、『広域連携軸の強化—阿蘇市へ連絡する新規路線整備』を特に重要視している事が確認された。

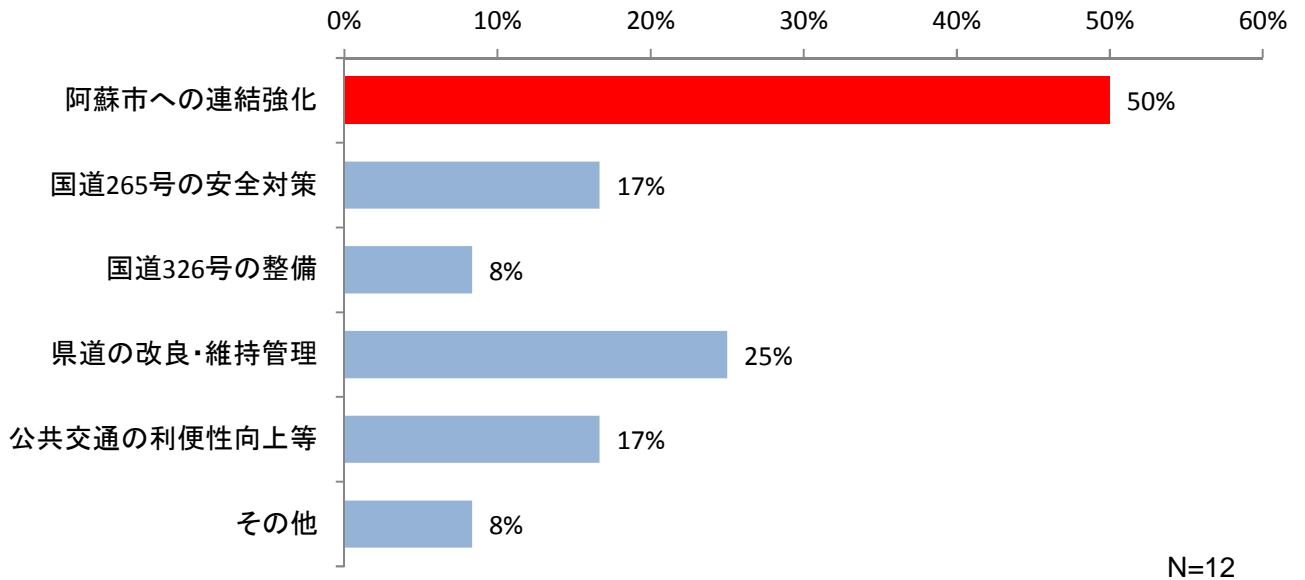


図 パブリックコメントにて寄せられた意見内容の内訳